

\* 収益はチェルノブイリ事故で被害を受けている子どもたちへの医薬品等の支援に使わせていただきます。

# チェルノブイリ・チャリティーコンサート

～ チェルノブイリ原発事故からちょうど22年となるこの日に～

平和を願い “心うた” を歌うシンガー&ソングライター

# 野田 淳子

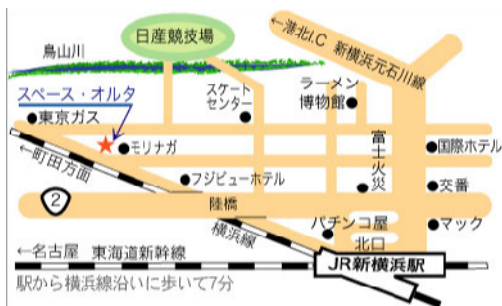
生きとし生けるあらゆるものの命への想いを歌に託して

2008年 4月26日(土)

開場 13:30 開演 14:00

## スペース・オルタ

横浜市港北区新横浜2-8-4オルタナティブ生活館B1  
新横浜駅徒歩6分(横浜線沿い、東京ガス手前)



## ♪ 演奏予定曲目

死んだ男の残したものは  
戦争しか知らない子供たち  
千羽鶴  
すべてがおくりもの  
千の風になって  
私と小鳥とずっと  
このみち  
花はどこへいった  
雨を汚したのはだれ  
童神  
など

## チケット

「チェルノブイリの子どもたち」会員 1,300円  
一般 前売り 1,500円 当日 1,700円  
子ども(中学生まで) 500円

主催 チェルノブイリの子どもたちと

共催 スペース・オルタ

協力 コミュニティールーム・ここ

問合せ TEL&FAX 045-833-6038(牧野) TEL 045-472-6349/FAX 045-472-5029(スペース・オルタ)



## 野田淳子 プロフィール



長崎県佐世保市出身。

フォークシンガー、ジョン・バエズに魅せられギターの弾き語りをはじめ。 (株)電通で働きながらアマチュアとして活動中、上條恒彦に認められ、1970年プロデビュー。創造集団“麦笛の会”をへて、現在、フリーで活動。

宝塚オーケストラ「七つの川に」初演の際、ソリストをつとめる。

また、シングル盤として発表した中国残留孤児の原詩による「はぐれつばめ」(作・すずききよし)が大きな反響を呼ぶ。

生きとし生けるあらゆるものの命への想いを、その透明感ある声に託して歌いつづけ、「心うた唄う人」「天使の声」「人間の魂をゆさぶり励ますような歌」「郷愁ということばがぴったり」などと評され、幅広い層の支持を受ける。

ソングライターとしては、映画「ふるさとの動物園」、「白い馬(モンゴル民話「スーホの白い馬」より)」のBGM、主題歌制作・演奏を担当。

また、金子みすゞの詩に曲をつけた作品は高い評価を受けている。

90年、91年、93年、96年、98年、2000年にリサイタル。

2005年には35周年記念リサイタル「心歌」を東京、京都、大阪で開催。

2001年より、寿岳章子氏から贈られた「心歌うたう人に捧げる」という詩から、“心歌”コンサートを開始。2001年に東京、2002年に大阪、2003年に東京、石川で開催。

自治体行事、学園での演奏多数。

91年ボストン、95年NGO北京女性会議、2000年ニューヨーク女性会議で演奏。

これまでのステージ数は2800回に及ぶ。

2007年、上條恒彦とのジョイントコンサートを千葉、東京、京都で開催。

2008年9月、大阪、京都で再演予定。



### 代表作

スーホの白い馬、この夜を越えて、  
千羽鶴、私と小鳥とすずと、  
星とたんぽぽ、歩き続けて、  
よみがえれ大和川

アルバム / CD 8枚、LP 2枚(廃盤)をリリース。

2005年11月 CD「私の金子みすゞ」をリリース

2006年3月 シングルCD「父へ / 千の風になって」をリリース

2007年9月 ベストアルバムをリリース

2007年11月 ジョイントコンサートライブCD「夢果てしなく」をリリース



### 「チェルノブイリの子どもたちと」について

チェルノブイリ原発被災地では22年目を迎えようとする今でも放射能汚染が深刻です。被災地の子どもたちに少しでも健康になって欲しいとの思いで、私たちは「チェルノブイリの子どもたちを呼ぶ会 / 横浜」として1993年から10年間、ベラルーシの子どもたちを横浜に招く保養ステイ活動をしてきました。現在は会の名称を「チェルノブイリの子どもたち」と改め、医薬品や、体内の放射能除去に効果のある健康補助食品等の支援を行っています。